

## 運営点検会議における委員からのご意見に対する対応状況

資料1

### 1. 平成30年度 JSC 職員意識調査結果（速報版）について

ご意見等	対応状況
職員意識調査アンケート項目で、「ハラスメントを受けたことがあるか、見聞きしたことがあるか」という質問はあるが、「ハラスメントをしたことがあるか」という質問を加えたらどうか。ハラスメントをしている人の意識を高める上でも、もう少し踏み込んだ方が、意識が深まるのではないかと。	ハラスメント研修等の機会をとらえ、ご指摘いただいた主旨も踏まえた意識を高めるための方策（チェックテスト等、認識の再確認が可能な方策）を検討する。
実際にはパワハラには該当しない言動をパワハラと感じていることもよくあるので、誤解を解くことも必要である。	ハラスメントに関する知識を深めるため、以下の取組みを実施している。 ・課長職を対象とした「ハラスメント防止」研修 ・全職員を対象としたハラスメント研修（パワハラ及びマタハラ防止対策のDVD研修）
何がハラスメントにあたるかを講習会等で説明し、理解してもらうことが必要である。	・各種ハラスメントの規程等で、ハラスメントになりうる行動について、具体的な行動事例をイントラ等に掲載
セクハラ・パワハラだけではなく、マタハラも増えてきているため、マタハラに関して付け加えることも対応策の一つである。	今年度の取組みとして、昨年度のハラスメント研修を継続して実施（部署ごとに未実施の研修を実施）し、イントラや部長等会議等を利用し、セクハラ・パワハラ・マタハラ含めたハラスメントに関する情報発信を行う。
ハラスメントの考え方は時代によって変わっているため、繰り返し専門家による教育を受ける等の対応をしていくことが大切である。また、ハラスメントを受けた場合に声を上げやすい環境があることが重要である。	ハラスメント相談体制について、より相談しやすい体制を整えるため各部署に「苦情相談員」を配置し、イントラ掲載等で周知している。また、相談員の資質向上のため、相談員用の研修DVDを利用した相談員対応に関する研修を実施する。

### 2. 平成30年度内部統制アクションプランの実施状況（JSC クロスミーティングについて）

ご意見等	対応状況
参加者アンケートの「今後 JSC クロスミーティングで取り上げたら良いと思うテーマ」についての意見が、非常に大事である。組織全体にかかわることであり、より新しいものを作り上げていくために、外部の有識者によりテーマに見合った専門的知識をアドバイスしてもらうなどの取組も必要である。組織全体で共有する工夫を加えると、より大きな効果になるのではないかと。	クロスミーティング、事後アンケートで上がった意見を踏まえ、人材育成への積極的な取組みを実施する。具体的には研修機会の充実を図ることとし、今年度4月から月に一度開催を決定した。なお、テレビ会議システムの活用により、全部署参加可能な体制を整えた。 また、6月と10月の研修では、外部有識者を講師に招く予定であり、11月以降も追加開催する予定で検討している。